

次回開催予告

## 世界湿地都市ネットワーク市長会議について 【第4回の参加報告／第5回の開催予告】

### ○会議の目的

ラムサール条約の湿地都市認証を受けた都市で構成される「世界湿地都市ネットワーク」において、湿地に関する政策・経験の情報共有や相互協力を促進するためのプラットフォームを提供すること



Wetland City  
Network

### ○第4回会議の概要

- ・期日 2025年11月27日(木)～29日(土)
- ・主催 タタ(ハンガリー) (共催 ラムサール条約東アジア地域センター)
- ・会場 タタ市内
- ・内容 会議(基調講演、事例発表、総会)、湿地のフィールドワーク等

### ○会議等



#### 【会議】

- ・13か国の23都市から百数十人が会議に参加しました。
- ・各都市のほか、ラムサール条約事務局、多くの国際機関や地元(ハンガリー)の研究者・活動家も参加し、講演や発表を行いました。(写真)
- ・分科会では、湿地について4のテーマに分かれ、事例発表やパネルディスカッションが行われました。
- ・総会(写真)では、市長会議の運営ガイドラインや主催都市の選定方法にかかる決議のほか、湿地都市間のユースの交流についての提言などがありました。



#### 【その他】

- ・閉会式では、次期主催者となる新潟市長より、新潟市の湿地のPRのほか、来年の日程や会場のアナウンスを行い、またタタ市長から主催都市フラッグの引き渡しを受けました。



#### 【第5回会議の概要】

主催：新潟市

日程：2026年11月30日(月)から12月2日(水)

会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター、  
市内の湿地(佐潟、福島潟等)

## ○湿地視察「ウレグ湖」



- タタはラムサール条約湿地「ウレグ湖」の湖畔にあり、また湖岸には遊歩道が整備され、付近には多くのレストランやホテルも立ち並び、市内外からの多くの来訪者があります。

- ウレグ湖およびその周辺はハンガリー最大のガンの生息地であり、早朝の湖岸では数万羽のガンが飛び立つ姿を観察できました。

(写真:飛び立ったばかりのガンの群れ(水面少し上の黒い帯状の集団))

- この地域のガンは、新潟のハクチョウと違い、ねぐらである湖から出かけたり戻ったり、一日に数往復していることから、湖岸では一日に何度もガンを観察することができました。

- 「タタがんフェスティバル」は毎年この時期に行われ、今年で 25 年目となります。最初は数百名だった来場者も、今ではハンガリー中から例年 15,000 人を超える来場があり、国内最大の野鳥のイベントとなっています。

- 湖岸には数百メートルにわたりさまざまな店舗が立ち並び、気温が 0°C 前後の早朝から多くの来場者で賑わっていました。(写真)

- このイベントでは、湿地での活動の展示や事例発表のテントも設けられ、複数の湿地都市が発表を行いました。

- 新潟市は "Lakes, Rice Fields, and Swans

– Branding of Wetland City NIIGATA –"

と題した湿地都市のブランディングについての取組発表を行いました。(写真)

- この市長会議の目的の一つに「情報共有や相互協力の促進」があり、「2 都市間会議」の場が設けられています。

- 新潟市は、「チャンニョン郡」と「チェジュ市」という韓国の 2 都市と意見交換をしました。

- チャンニョン(写真の左)は韓国唯一のトキの生息地として生息環境の整備に力を入れていること、チェジュは湿地都市認証が湿地の保全や環境学習の活性化に貢献していることを、主な取組み事例として挙げていました。

## ○タタがんフェスティバル



## ○事例発表



## ○2 都市間会議

